

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立倉吉農業高等学校

重点項目	専門人材育成	提出日	平成31年 2月13日
------	--------	-----	-------------

1 学校目標
農業教育をはじめとして、あらゆる教育の場において豊かな感性を育て、基礎基本を大切にして知の修得に努め、自らの可能性を信じて不断の努力を惜しまない生徒の育成を図るとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。 1. 基礎・基本の定着と学力の向上 2. 基本的生活習慣の確立 3. 地域連携と特色ある教育活動 4. 進路意識の向上と進路保障 5. コミュニケーション能力の向上
2 重点項目に係る目標
1. 県版SPH事業を推進する。特に長期インターンシップ、県外先進地農家留学研修、6次化プロデューサー認証、就農促進事業、大学との連携、資格取得等の充実を図る。 2. 2年次インターンシップを通して早期に進路意識を持たせ、進路意識の高揚を図る。 <数値目標> 1. スーパー農林水産業士の3名以上の認定 (H30年度 3名) 2. 生物科の農業系大学等の農業関連進学率が全進学希望者の50%以上 (H30年度 50%) 3. 環境科、食品科の農業系大学等の進学率が全進学希望者の30%以上 (H30年度 29%) 4. 農業及び学科関連産業への就職率が全就職希望者の50%以上 (H30年度 37%) 5. 資格取得の合格率が60%以上 (H30年度 63%) 6. 難易度の高い資格 (アグリマイスター、農業技術検定、測量士補等) の合格者数向上 (H30年度 アグリマイスター5名、農業技術検定2級0名、測量士補1名、危険物取扱者乙種4類1名)
3 事業計画 (事業名、事業概要)
【高等学校課事業】 事業名：県版SPH事業 (全学年対象) 事業概要： (1) 長期インターンシップ 2・3年生で合計20日間、パートナーシップ農家で就業体験を実施 (2) 県外先進地農家留学研修 夏期休業中に北海道等の県外先進農家で農業研修を実施 (3) 食の6次産業化プロデューサー認証 3年間でレベル2まで取得 (4) 大学との連携 鳥取大学及び龍谷大学の各農学部を訪問し、施設見学や授業体験を実施 (5) 地域連携担当教員の配置 (6) 教員研修の推進
【独自事業】 事業名：就農促進事業 (全学年対象) 事業概要： 地域の農家を視察し農業青年と懇談を行い、知り得た知識や技術などに基づいて将来の農業経営等を考察し発表する

(様式1)

事業名：資格取得（全学年対象）

事業概要：

大型特殊免許・室内園芸装飾・造園技師等の資格取得、資格取得関連書籍購入

事業名：インターンシップ（2年生対象）

事業概要：

各学科の教科内容に通じた作業現場での実習を実施

数値目標に関する所見

※数値目標1，2，3，5は概ね目標を達成したが、一層の努力が必要。

※数値目標4は前年の40%から37%となり目標の50%に届かなかった。農業関連産業の求人はあるものの希望者の増加にはつながらなかった。生徒が給与等のより良い条件を求めた結果だが、就職内定率は100%となり鳥取県の産業を支える人材を輩出した。本事業を引き続き実施することで農業の魅力を生徒に伝えるよう全職員で取り組む。

※数値目標6のアグリマイスターは前年の1名から5名と大幅増。しかし、測量士補と危険物取扱者乙種4類は受験者数は例年通りだったが合格者は各1名に止まった。これらは難易度が高いため細かな個別指導の徹底が必要。農業技術検定は受験生はあったが不合格となった。こちらも丁寧な個別指導が必要。

※枚数任意